

令和4年度 総合学習課評価における報告

総合学習課長 高尾 克人

項目	自己評価	今年度の反省 総括	次年度の検討事項
1 学年活動	C	前期は「表現トレーニング」を中心に授業を計画したが、ICT機器設定・利用方法・パスワード設定・個人面談などに時間が取られ、テキストの活用時間が確保できなかったようである。後期は、「クラステーマ学習」として、調べ学習が中心であったが、文化祭クラス発表テーマ決め・年度末に行われるパワーポイントでの発表指導などに時間が取られたようである。	「表現トレーニング」（テキスト）に代わる「伝わる意見のつくり方」（テキスト）を検討したい。
2 学年活動	C	前期は「志望理由書の書き方と面接対策」（テキスト）を主に展開してもらったが、個人面談（新担任と新クラス生徒編成による）に時間が必要だったように感じた。テキストは、「進路決定」に向けた内容のため、好評だった。引き続き3年生でも同テキストを使用する。そのため、3年時にクラス再編成した際でも支障がないように「2・3年時での進度を明確にする必要がある」（2年間での進捗表）との意見もあった。 また「体育祭・文化祭・修学旅行」の各行事準備に時間が取られた。	「クラステーマ学習」（調べ・発表）のあり方・方法（コミュニケーション力・自己の思考の組み立て方とその表現の仕方など）を検討する必要がある。
3 学年活動	B	前期前半（夏休み前）は、「キャリア学習・進路指導」（テキスト・表現トレーニング・志望理由書の書き方と面接対策を使用）に重点を置いて、展開してもらった。担当した多くの担任から好評であった。 一方で、学校行事・進路面談などの「クラスの相談事」に時間が割かれたので、細かく年間計画を作る必要があるようだ。	「クラステーマ学習」を実施する時期と「進学活動」のそれとが同時期であるため、実習するか否かを含め、一考する必要がある。3年生は、12月で全ての授業が終了することや、1・2年生で既に行っているため「クラステーマ学習」は無くてもよいのではないかと、という意見も聞かれた。